

科目名		ベーシックレッスン 1							年度	2025
英語科目名		Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ギター) 1年次		必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	矢倉 聖悟/鳥居 隼/篠崎 保/渡辺 具義/鈴木 一義			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	
【科目の目的】										
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。										
【科目の概要】										
この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の7つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。										
【到達目標】										
A. 楽器の基礎スキルを習得できる B. イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる C. リーディング(基礎)を習得できる D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる										
【授業の注意点】										
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない					
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない					
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない					
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない					
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない					
【教科書】										
【参考資料】										
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価								
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価								
平常点	10%	積極的な姿勢								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ベーシックレッスン1				年度	2025
英語表記		Basic lesson 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を学ぶ	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	ギターの基礎知識を習得する	1	基本フォーム	ギターの正しい構え方を習得する		
			2	ピックの持ち方	正しいピックの持ち方を習得する		
			3	音の出し方	正しい音の出し方を習得する		
3	専攻実技②	8ビートのコードバックキングを習得する	1	バックキングパターン	基本のバックキングパターンを習得する		
			2	オープンコード	オープンコードバックキングを習得する		
			3	バレーコード	バレーコードバックキングを習得する		
4	専攻実技③	8ビートのアルペジオを習得する	1	アルペジオパターン	基本のアルペジオパターンを習得する		
			2	オープンコード	オープンコードアルペジオを習得する		
			3	バレーコード	バレーコードアルペジオを習得する		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 1								年度	2025
英語科目名	Basic lesson 1								学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ベース) 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習	
担当教員	上野 一郎/橋本 佳紀/鈴木 一義/渡辺 具義			教員の実際経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】										
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。										
【科目の概要】										
この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の7つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。										
【到達目標】										
A. 楽器の基礎スキルを習得できる B. イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる C. リーディング(基礎)を習得できる D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる										
【授業の注意点】										
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない					
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない					
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない					
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない					
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない					
【教科書】										
【参考資料】										
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価								
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価								
平常点	10%	積極的な姿勢								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ベーシックレッスン1			年度	2025
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1 機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2 セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3 片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎知識を習得する	1 基本フォーム	ベースの正しいフォームを習得する		
			2 ピックの持ち方	正しいピックの持ち方を習得する		
			3 音の出し方	正しい音の出し方を習得する		
3	専攻実技②	指弾きを習得する	1 ツーフィンガー奏法	ツーフィンガー奏法を習得する		
			2 8ビート	8ビートを習得する		
			3 16ビート	16ビートを習得する		
4	専攻実技③	ピック弾きを習得する	1 アルアイレ奏法	アルアイレ奏法を習得する		
			2 アポヤンド奏法	アポヤンド奏法を習得する		
			3 ゴーストノート	ゴーストノートを習得する		
5	イヤートレーニング①	音符（音程）を聞き取る	1 音符	音符の意味を理解できる		
			2 音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1 休符	休符の意味を理解できる		
			2 休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1 メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2 マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3 ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング（基礎）①	譜面から情報を読み取る①	1 調	調について理解できる		
			2 拍子	拍子について理解できる		
			3 セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング（基礎）②	譜面から情報を読み取る②	1 五線譜	五線譜について理解できる		
			2 ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3 ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング（基礎）③	譜面から情報を読み取る③	1 縦線	縦線について理解できる		
			2 複縦線	複縦線について理解できる		
			3 リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1 課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2 スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3 基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1 デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2 バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3 講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1 デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2 ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3 講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1 リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2 本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3 講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1 リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2 本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3 講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名		ベーシックレッスン1							年度	2025
英語科目名		Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年		ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(ドラム) 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員		麻生 祥一郎/崎村 純弥/堀越 彰/山口 岳/藤本 健一/鈴木 一義/渡辺 具義			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン
【科目の目的】										
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。										
【科目の概要】										
この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の7つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。										
【到達目標】										
A. 楽器の基礎スキルを習得できる B. イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる C. リーディング(基礎)を習得できる D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる										
【授業の注意点】										
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる		楽器の基礎スキルを習得できる		楽器の基礎スキルを習得できない					
到達目標 B	イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない					
到達目標 C	リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる		リーディング(基礎)を習得できる		リーディング(基礎)を習得できない					
到達目標 D	インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができる		インプロ発表会でベストパフォーマンスができない					
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない					
【教科書】										
【参考資料】										
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価								
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価								
平常点	10%	積極的な姿勢								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ベーシックレッスン1				年度	2025
英語表記		Basic lesson 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	自分に合ったセッティングができる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎知識を習得する	1	基本フォーム	ドラムの正しいフォームを習得する		
			2	スティックの持ち方	正しいスティックの持ち方を習得する		
			3	ヒッティング	正しいヒッティングを習得する		
3	専攻実技②	基本ビートを習得する	1	8ビート	基本の8ビートを習得する		
			2	16ビート	基本の16ビートを習得する		
			3	Shuffle	基本のShuffleビートを習得する		
4	専攻実技③	練習法を習得する	1	パラディドル	パラディドルの基礎を習得する		
			2	リズムのノリ	リズムのノリの違いを理解できる		
			3	メトロノーム	メトロノームの効果的な練習法を習得できる		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名		ベーシックレッスン1								年度	2025
英語科目名		Basic lesson 1								学期	前期
学科・学年		ミュージックアーティスト科プレイヤーコース(キーボード) 1年次		必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員		金沢 法皇/田中 綾美/二本柳 一明/Ryuta/鈴木 一義/渡辺 具義			教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン	
【科目の目的】											
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びます。インプロビゼーションでは、それぞれが自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。											
【科目の概要】											
この授業は、各楽器の実践的なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「専攻実技」「イヤートレーニング」「リーディング」「ボーカルアンサンブル」「インプロビゼーション」「インプロビゼーションアンサンブル」「DTM」の7つに分かれます。下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。また、学生一人一人の演奏レベルや個性は十人十色であるため、それぞれに適したペースで指導を行うことに重点を置いている。											
【到達目標】											
A. 楽器の基礎スキルを習得できる B. イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる C. リーディング(基礎)を習得できる D. インプロ発表会でベストパフォーマンスができる E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる											
【授業の注意点】											
専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。 課題曲に対する下準備。楽器、譜面は忘れずに必ず持ってくること。											
評価基準ループリック											
ループリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A		楽器の基礎スキルを習得し、ミスのない演奏ができる				楽器の基礎スキルを習得できる				楽器の基礎スキルを習得できない	
到達目標 B		イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得し、ミスなく採譜できる				イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できる				イヤートレーニング(音符、休符、和音)を習得できない	
到達目標 C		リーディング(基礎)を習得し、ミスなく進行できる				リーディング(基礎)を習得できる				リーディング(基礎)を習得できない	
到達目標 D		インプロ発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる				インプロ発表会でベストパフォーマンスができる				インプロ発表会でベストパフォーマンスができない	
到達目標 E		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる				アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる				アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができない	
【教科書】											
0											
【参考資料】											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
【成績の評価方法・評価基準】											
試験・課題		70%		課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価							
成果発表		20%		授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価							
平常点		10%		積極的な姿勢							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		ベーシックレッスン1			年度	2025	
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	機材の使用方法を理解できる	1	機材の名称	主に使用する機材の名称を把握できる		
			2	セッティング	機材の正しいセッティング方法を理解できる		
			3	片付け	正しい手順で片付けられる		
2	専攻実技①	基礎トレーニング	1	基本姿勢	キーボードの正しいフォームを習得できる		
			2	右手	右手の運指を理解できる		
			3	左手	左手の運指を理解できる		
3	専攻実技②	コードについて理解する	1	3和音	3和音について理解できる		
			2	4和音	4和音について理解できる		
			3	押さえ方	基本形～転回形の押さえ方ができる		
4	専攻実技③	音色の違いを理解する	1	リードシンセ	リードシンセの音色について理解できる		
			2	ストリングス	ストリングスの音色について理解できる		
			3	オルガン	オルガンの音色について理解できる		
5	イヤートレーニング①	音符(音程)を聞き取る	1	音符	音符の意味を理解できる		
			2	音符の種類	音符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
6	イヤートレーニング②	休符を聞き取る	1	休符	休符の意味を理解できる		
			2	休符の種類	休符の種類を理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
7	イヤートレーニング③	メジャー、マイナーの響きの違いを理解する	1	メジャーの響き	メジャーの響きを理解できる		
			2	マイナーの響き	マイナーの響きを理解できる		
			3	ライティング	音を聞き五線譜にライティングできる		
8	リーディング(基礎)①	譜面から情報を読み取る①	1	調	調について理解できる		
			2	拍子	拍子について理解できる		
			3	セクション	セクションについて理解できる		
9	リーディング(基礎)②	譜面から情報を読み取る②	1	五線譜	五線譜について理解できる		
			2	ト音記号	ト音記号について理解できる		
			3	ヘ音記号	ヘ音記号について理解できる		
10	リーディング(基礎)③	譜面から情報を読み取る③	1	縦線	縦線について理解できる		
			2	複縦線	複縦線について理解できる		
			3	リピート記号	リピート記号について理解できる		
11	ボーカルアンサンブル①	課題曲について理解する	1	課題曲	課題曲を聴き、イメージができる		
			2	スコアリーディング	スコアリーディングで進行を理解できる		
			3	基本パターン	課題曲の基本パターンを習得できる		
12	ボーカルアンサンブル②	バンドセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	バンドセッション	バンドのみの時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
13	ボーカルアンサンブル③	ボーカルinセッションに取り組む	1	デモ演奏	講師のデモ演奏を聴き、演奏のイメージができる		
			2	ボーカルセッション	ボーカルが入った時の演奏を意識できる		
			3	講師指導	講師から指摘されたことを改善できる		
14	インプロ発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		
15	アンサンブル発表会	ステージパフォーマンス	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる		
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等